

# 平成26年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立紀北工業高等学校 学校長名： 櫻 葉 直

目指す学校像 育てたい生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科の学習および特別教育活動等の適切な指導により個人の能力を充分伸ばさせ、勤労愛好と協同一致の精神を育成し、かつ、礼儀と責任を重んずる気風を養成する。</li> <li>技術人として肝要な合理的、科学的、創造的精神を養い、規律を重んじ、質実剛健有能で誠実な産業人を育成する。</li> </ul>
-------------------	---

本年度の重点目標 (学校の課題に即し、精選した上で、具体的かつ明確に記入する)	1 学力の向上に向けて、授業の充実、主体的な学習習慣の育成を図る。
	2 基本的な生活習慣を身につけさせ、挨拶ができるようにする。
	3 工業高校として、魅力と特色ある学校づくりを推進する。
	4 地域の企業等との連携を密にして産業を支える人材を育成する。

達成度	A	十分に達成した (80%以上)
	B	概ね達成した (60%以上)
	C	あまり十分でない (40%以上)
	D	不十分である (40%未満)

学校評価の結果と改善の方策の公表の方法
本校のホームページで公開する。

(注) 1 重点目標は3～4つ程度設定し、それらに対応した評価項目を設定する。 2 番号欄には、重点目標の番号を記入する。 3 評価項目に対応した具体的取組と評価指標を設定する。  
 4 年度評価は、年度末(3月)に実施した結果を記載する。 5 学校関係者評価は、自己評価の結果を踏まえて評価を行う。

自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価		
重 点 目 標					年 度 評 価 ( 3 月 2 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的取組	評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善方策
重点目標1	入学時に目的意識の希薄な生徒もいるので学習に対する意欲差が大きい。基礎学力が不足している生徒や学習に対して主体的に取り組む姿勢が欠けている生徒が増えている。工業の専門的な知識の習得や資格取得をしていく上で、基礎学力の向上が望まれる。	教員が授業研究を積極的にを行い、生徒の主体的な学習を促す授業改善への取組が十分に行われているか。 Brush-upTime(基礎学習)がスムーズに実施されているか。	授業規律の定着 家庭学習習慣の定着 研究授業や公開授業の実施	授業開始時の教科書・ノート の準備率95%以上 宿題の提出率95%以上 研究授業または公開授業を 教職員一人一回の実施	授業規律定着については、教職員が連携を深め取り組み、大半の授業は落ち着いて取り組んでいる。もう少し徹底したい。 Brush-upTime(基礎学習)を年間を通じて実施することができたが、効果を検証するに至らなかった。 研究授業については2割程度に止まった。	B	授業アンケート等も活用し授業規律の定着を徹底して行う。 Brush-upTime(基礎学習)の学力(調査)テストを実行し、より良い改善を行う。 研究授業・公開授業の回数を増やす。 家庭学習の定着を目指す。
2	基本的な生活習慣が確立していない生徒、高校生として自主自律的精神が欠如している生徒がみられる。	基本的な生活習慣の確立を計るとともに、コミュニケーション能力の育成に努めているか。	元気よく挨拶ができるように指導する 職員全員による登校指導及び校内巡視 毎月はじめの服装・頭髪指導の徹底	全職員からの積極的な声かけ100%実施 遅刻生徒数の前年比10%の減少 生徒指導件数の前年比10%の減少	教職員が校門等の指導にあたり、積極的に声かけを行い挨拶をする生徒が増え、生徒とのコミュニケーションも深まっている。また、徹底した頭髪服装指導や基本的な生活習慣の指導を行い、問題行動も減少し、校内は非常に落ち着いている。	A	教職員全員による登校指導や声かけ等を継続し、基本的な生活習慣の確立やコミュニケーション能力の育成に努め、生徒の意識の向上を図る。 危機管理意識が低くなっているように感じる。現状に甘えず、徹底する必要がある。
3	本校の工業教育の成果を広く発信していく。 実験・実習では、匠の技能や新しい技術の習得、ものづくりの楽しさを深めていく。 安全教育を推進する。	地域社会に貢献できるものづくりの人材育成や保護者の信頼に応えているか。 安全教育に努めているか。	ものづくりを中心とした教員研修の充実 地域企業技術者による講習 資格取得の指導をとおしての専門的な知識の習得 実習・実験前の安全教育、事故防止事前チェック	夏季研修等を利用した技術講習会や、事業所での研修への参加 地域企業技術者の招聘 資格取得率の前年比10%の増加 事故・怪我等件数0	地域企業技術者による講習を多く取り入れ、難度の高い資格を多くの生徒に取得させることができた。 本校教育の特色を様々な機会を通じて広報することが出来た。 安全教育は徹底して行うことができた。	B	教職員が協力して資格の取得に向けて指導を行う。そのために夏季研修等を利用して技術講習等への積極的な参加を促進する。 本校教育の特色を様々な機会を通じて広報する。 安全教育を引き続き徹底して行う。
4	キャリア教育を計画的、体系的に行い、望ましい勤労観・職業観や社会性を育成していく。	進路を自ら選ぶ能力の育成や職業に就いて働くことへの理解をさせ、望ましい勤労観・職業観を育成しているか。	個人面談・進路ガイダンスの実施 校友会や関係機関との連携を深める。 「わかやま産業を支える人づくりプロジェクト」を積極的に推進する。 インターンシップの実施	就職内定率100%を確保し応募前職場見学希望生徒100% 工場実習、職場見学の実施 公立大学進学者数の増大 生徒、保護者、企業等と連携を深めながら計画的に行う。 「わかやま産業を支える人づくりプロジェクト」の推進。	充実したインターンシップを行えた。 進路に関する個人面談やガイダンスは十分に行うことが出来た。その中でキャリア教育も十分に行うことが出来た。 就職については、就職率100%を達成できた。 わかやま産業を支える人づくりプロジェクト」を積極的に推進できた。	A	企業と学校が更に連携を深め、生徒の意識を高めるとともに、地域産業に役立つ人材の育成を行っていく。 引き続き充実したインターンシップを行う。 更なるキャリア教育の充実を図る。

平成27年1月22日 実施

学校関係者からの意見・要望・評価等

○マンスリータイムズを拝見しました。生徒がそれぞれの分野で活躍されていること、大変素晴らしいことと思いました。スポーツの分野でもそうですが、工業高校としてその特性を活かした取り組みが充実していることに感銘を受けました。  
 ○本校卒業生の就職後の状況等アンケートを取れば、在校生の就職活動に役立てることができるのではと思います。  
 ○就職率100%に重きを置き過ぎ、就職先の内容にまで踏み込まれていないのでは？との思いがあります。高校生では、本当の意味で企業を選択する知識は不足しており先生方の助言が大きく左右すると思います。先生方におかれましては、労働条件を精査され助言される事をお願いします。  
 ○朝の挨拶ができる生徒さんが増えてきています。非常に良いことだと思います。  
 ○工業高校なので、社会に出る時にその場に対応できるような人間を育てていただきたいです。  
 ○先生間でのコミュニケーション不足なのか、先生によって指導が異なり子供が困惑している。  
 ○充実した学校生活を送っており、嬉しく思います。工業高校としての特色や活動内容をもっと積極的に地域に活かし、アピールできる機会があれば良いと思います。  
 ○女子生徒の増加をふまえて、女子の就職先が増えて欲しい。看護、介護職を目指す生徒への情報発信もお願いしたい。  
 ○保護者が学校へ伺い子供たちの学校生活を見ることができるといい行事もあり、3年になると進路につき、いち早く相談できる良い学校だと思えます。  
 ○補習等実施していただけると有難く思います。  
 ○将来社会に出て役立つと思われる資格等を積極的に取得するように働きかけてください。  
 ○生徒もいつもあいさつもきちんと出来、社会人として必要なコミュニケーション能力は高いと感じました。  
 ○文化祭を見て、地域の方が興味を持つ様な展示物等が少なく残念に思いました。